



平成 28 年 8 月 1 日

各 位

会 社 名 アンジェス MG株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山田 英  
(コード番号 4563 東証マザーズ)  
問合せ先 財 務 部 長 米尾 哲治  
電話番号 03-5730-2641

## 新株予約権発行に係る資金使用の一部変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、平成 28 年 3 月 25 日付「第 27 回新株予約権（第三者割当て）（行使価額修正条項付）の募集に関するお知らせ」（以下「発行時お知らせ」といいます。）において開示いたしました、当社第 27 回新株予約権（第三者割当て）（以下「本新株予約権」といいます。）の発行及びその行使により調達する資金の使途及び支出予定時期につきまして、下記のとおり変更することといたしましたので、お知らせいたします。なお、本新株予約権については、平成 28 年 4 月 18 日にそのすべての行使が完了しており、本新株予約権により、当社は、差引手取額約 3,029 百万円を調達しております。

### 1. 変更の理由

本新株予約権及びその行使により調達する資金については、発行時お知らせにおいて開示いたしましたとおり、NF- $\kappa$ B デコイオリゴの開発に係る費用、すなわち、(i) NF- $\kappa$ B デコイオリゴのアトピー性皮膚炎を対象疾患とした日本国内における第Ⅲ相臨床試験、並びに(ii) NF- $\kappa$ B デコイオリゴの椎間板性腰痛症を対象疾患とした米国における第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験の実施及びその準備費用に必要と見込まれる費用に充当することを予定しておりました。

しかしながら、2016 年 7 月 5 日付「NF- $\kappa$ B デコイオリゴ アトピー性皮膚炎治療薬（軟膏製剤）国内第Ⅲ相臨床試験の結果（速報）について」において開示いたしましたとおり、NF- $\kappa$ B デコイオリゴのアトピー性皮膚炎を対象疾患とした治療薬の国内第Ⅲ相臨床試験の解析速報において、主要評価項目である投与開始から 4 週間（28 日間）後における主有効性評価部位の「皮膚症状スコア」の変化について、NF- $\kappa$ B デコイオリゴ核酸投与群とプラセボ投与群との間で統計学的な有意差は示されませんでした。当社は、現在当該臨床試験の結果の詳細な解析を進めておりますものの、上記の解析速報を踏まえると、NF- $\kappa$ B デコイオリゴのアトピー性皮膚炎を対象疾患とする治療薬を医薬品として承認申請を行うことはきわめて困難である状況です。

そのため、調達した資金のうち、承認申請を前提として調達した資金約 539 百万円については、当社の事業基盤の拡大に繋がる DNA ワクチン事業の分野への本格的進出を目的として、米国 Vical Incorporated（代表者：President and Chief Executive Officer Vijay B. Samant、所在地：10390 Pacific Center Court, San Diego, California 92121, USA）（以下「Vical 社」といいます。）への出資に充当することといたしました。

また、本新株予約権の発行及びその行使により実際に調達された資金は、上記のとおり、差引手取額約 3,029 百万円となっており、発行時お知らせの時点において見込んでいた、NF- $\kappa$ B デコイオリゴのアトピー性皮膚炎及び椎間板性腰痛症をそれぞれ対象疾患とした治療薬の開発費用の合計金額である約 2,623 百万円を上回っております。発行時お知らせの時点においては、かかる開発費用の金額を上回る資金が調達できた場合には、当該余剰については、HGF 遺伝子治療薬の重症虚血肢を対象疾患とした国際共同第Ⅲ相臨床試験を実施するために平成 29 年までに必要と見込まれる費用及び国際共同第Ⅲ相臨床試験を実施する期間の当社の運転資金の一部（研究開発関連費用及び本社機能運営費用等）につき、平成 26 年 7 月に当社が行ったライツ・オフアリング（ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当）により調達した資金では賅うことができない不足分が発生し次第充当する予定でありましたが、生じた余剰

のうち 277 百万円についても、当社の事業基盤の拡大に繋がる DNA ワクチン事業の分野への本格的進出を実現すべく、同様に Vical 社への出資に充当することといたしました。

Vical 社への出資の詳細については、平成 28 年 8 月 1 日付「米 Vical 社への出資に関するお知らせ」と題するプレスリリースをご覧ください。

なお、生じた余剰のうち約 129 百万円については、発行時お知らせにおいて記載いたしましたとおり、HGF 遺伝子治療薬の重症虚血肢を対象疾患とした国際共同第Ⅲ相臨床試験を実施するための費用及び当社の運転資金の一部に、平成 28 年 4 月から 6 月にかけて充当しております。もともと、2016 年 6 月 20 日付「海外における HGF 遺伝子治療薬の開発戦略変更について」と題するプレスリリースで開示いたしましたとおり、当社は、重症虚血肢を対象疾患とした HGF 遺伝子治療薬の開発資金を削減すると同時にできるだけ早く HGF 遺伝子治療薬の医薬品としての承認申請を実現し製品の実用化を目指す観点から、国際共同第Ⅲ相臨床試験を終了し、新たな開発戦略の下で別に新たな臨床試験を米国において実施することを決定しております。

NF-κB デコイオリゴの椎間板性腰痛症を対象疾患とした治療薬の開発費用に充当される資金の額及び充当予定時期については、変更はありません。

## 2. 変更の内容

本新株予約権の発行により調達する資金の使途および支出予定時期の変更内容は、以下のとおりです。変更部分には下線を付して表示しています。

### 【変更前】

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
NF-κB デコイオリゴ アトピー性皮膚炎開発費用	<u>1,227</u>	平成 28 年 4 月～平成 32 年
NF-κB デコイオリゴ 椎間板性腰痛症開発費用	1,396	平成 28 年 4 月～平成 32 年
合計	<u>2,623</u>	

### 【変更後】

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
NF-κB デコイオリゴ アトピー性皮膚炎開発費用	<u>688</u>	平成 28 年 4 月～ <u>平成 29 年</u>
NF-κB デコイオリゴ 椎間板性腰痛症開発費用	1,396	平成 28 年 4 月～平成 32 年
<u>Vical 社への出資</u>	<u>816</u>	<u>平成 28 年 8 月</u>
<u>HGF 遺伝子治療薬の重症虚血肢を対象疾患とした国際共同第Ⅲ相臨床試験を実施するための費用及び運転資金</u>	<u>129</u>	<u>平成 28 年 4 月～6 月</u>
合計	<u>3,029</u>	

## 3. 当期業績見通しへの影響

本件変更による当期の NF-κB デコイオリゴ アトピー性皮膚炎関連の費用については、現在精査中ですが、約 2～3 億円程度減少する見通しです。その他の変動要因も含めた平成 28 年 12 月期連結業績への影響についても現在精査中であり、平成 28 年 2 月 5 日発表の業績予想に修正が必要と判断された場合には速やかに発表いたします。

以 上